

2003(平成15)年7月1日 第15号

発行：(福)十字の園本部署務局
理事長 平井 章

住所：〒431-1304
静岡県引佐郡細江町中川7220-11
tel 053-436-9535
fax 053-437-1352

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)



◆「普通の生活」へのユニバーサルデザイン ◆

浜松十字の園 施設長 平井 章



「普通の生活」ってどういうことだろう。朝起きて、着替えをして、食事をして、ある人は仕事に出掛け、ある人は洗濯、掃除、買い物をし、ある人はサークル活動に行く。帰宅して、夕食を食べ、テレビを見てお風呂に入り、パジャマや寝巻に着替えて寝る。そんな一日のリズムの生活がある。時には旅行をし、公園に出掛けたり音楽会に行ったりする変化の生活がある。また、人には、幼児期、青年期、成人期、老年期に通常の期待を経験するライフサイクルがある。働く機会が与えられ、それに応じた賃金を受ける生活がある。結婚を含め自己決定をしていく生活がある。外出する時には、乗り物や施設に不自由のない環境がある。それを保障する社会を作ることが、ノーマライゼーションの目指すところだ。障害者が生活しやすいようにと、バリアフリー運動が起こった。今は、それを一歩前進させて、ユニバーサルデザインの考え方のもとに社会作りが始まった。ユニバーサルデザインとは、「すべての人のためのデザイン(構想、設計、計画)です。年齢、性別、身体、国籍など、人々の持つ様々な特性や違いを越えて、はじめから、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した、環境、建物、施設、製品等のデザインをしていこう」という考え方だ。「心のユニバーサルデザイン」を持ちながら、特別養護老人ホームを「施設」から「生活の場」へ変えて行こう。そう思う、この頃……。



2002年度事業報告とこれからの夢

理事長 平井 章

A. 総括

2002年度は、身体障害者療護施設併設の特別養護老人ホーム松崎十字の園が、松崎町並びに伊豆圏域市町村の協力のもとに開設することができました。開設当初はユニットケアの対応、クックチル方式の食事提供等苦勞もありましたが順調な運営を展開できました。施設の質の向上では、「より良い施設、生活の場としての施設」を目指して取り組み始めたユニットケアは、既存施設の居住環境を整備しつつ、各施設が前向きに取り組んだ結果、利用者・家族からの評価が上がってきています。特に浜松十字の園は、他県の先進施設の見学実習を通して職員意識が向上し、高い評価を受けるようになってきました。法人・施設の理念を具現化するために、今後もユニットケアによる方法を向上させたいと思っています。職員の質の向上では、法人として十字の園大会の開催のほか、職員交換研修、リーダー研修、事務職員研修、給食職員研修を開催するとともに、各施設における内部研修の取り組みと外部研修への派遣を通して成果が上がっています。ユニットケア全国セミナーには静岡県130名参加の中に十字の園から22名が参加しました。サービスの質の向上では、法人・施設の理念を具現化のためには、ユニットケアの方法に加え、提供するサービスの内容を明確に示していくために「サービス基準指針」の作成が求められます。そのために、浜松のサービス基準指針を参考に、それぞれの施設のサービス基準指針作成に向けての取り組みが始められました。経営面では、松崎十字の園の場合は、開設初年度でもあり、年間利用率及び備品の整備の必要性から赤字の経営でありましたが、他の施設、事業は順調に推移してきています。施設整備の借入金、長期資金借入金の償還も順調に実施できました。平成15年度からの介護報酬の改訂内容をみると、中長期的視野に立って、経営の質の向上を図っていくことがこれからの課題であります。

B. 精神基盤について

「夕暮れになっても光がある（人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。）」の法人理念を基盤として、一日が礼拝をもって始められ、キリスト教精神による運営を大切に守ることができました。また今年度の十字の園大会（法人内職員研修会）では稲松義人氏（小羊学園理事長、十字の園理事）を講師に招き、聖書を通してキリスト教精神に寄って立つ働きを学ぶことができました。また、聖隷歴史資料館にて「十字の園特別展」を開催することができ、その過程で、映像による「十字の園の出来るまで」を編集することができたことは、具体的な精神の継承に役立つものであり、ご尽力をいただいた聖隷学園に感謝します。2003年度は御殿場、伊豆高原、松崎にて特別展を開催し、職員、利用者、家族並びに地域に紹介していきたいと思っています。

C. 新時代における法人の役割について

法人の定款の目的は「この社会福祉法人は、キリスト教精神に基づき、多様なサービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供し、「利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに」、そして、「有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において」生活できるように支援することを目的としています。法人の理念と定款の目的を基盤としたより良い施設作りと利用者一人ひとりの「生活の質」の向上のために、職員研修、施設間の情報交換等を法人としてさらに取り組んでいきたいと計画しています。

D. 法人のこれからの計画

浜松十字の園の隣地（わかば保育園移転跡地）の取得を予定しています。16・17年度を目指して施設整備事業を計画します。胸の内の計画では、さつき棟の全面改築による居住福祉型（グループケアユニット）特養、二号被保険者用小規模デイサービス、痴呆性高齢者グループホーム、高齢者住宅による「老人下宿」を夢見ているところです。

「あなたのために」

社会福祉法人 十字の園 理事

(伊豆高原十字の園 施設長) 青木 克文



十字の園は、法人のキリスト教福祉事業の働きを表す聖書の御言として「夕暮になっても、光がある」(ゼカリヤ書 14 章 7 節 [口語訳]) を大切にしています。そしてその御言を「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」という理念で具体化しています。

十字の園は、聖隷の精神とディアコニッセの働きから生まれたのであり、先人達は病んでいる人、倒れている人、この世から見捨てられたと思っている人達を前に自ら低くなり、報いを求めずひたすら、しかし大胆に自分を献げ事業を行ってきました。

そうした法人の歴史と理念を継承し、伊豆高原十字の園では、「人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。」(マタイによる福音書 20 章 28 節) という御言を大切に、「あなたのために」を施設の理念として掲げています。

施設及び職員は、利用者一人ひとりの尊厳を守りつつ向かい合い、意思を尊重し、そのときに最善のことができるよう「あなたのために」施設のすべてを活かしたいと願い、法人及び施設の理念に沿って施設がどういう姿勢でどのようにサービスを提供するかを決めた基準を作ろうとしています。

キリスト教社会福祉事業の目的は、神のニーズに応えることだと思いますが、創設者の一人であるハニ姉妹が愛と憐れみを困難の中にある人々に仕えたいと、「伝道と奉仕」の団体の理念のもとに働かれたことを踏まえ、日々の生活援助をとおして利用者の方々の生活と利益を守る施設として、また地域福祉に影響を与えられる施設となるよう、理念を実践していきたいと思っています。

介護老人福祉施設

優先入所について

今年 4 月から施設入所の方法が変わりました。

御殿場十字の園 相談員 宮島 克利

先日、「静岡県介護老人福祉施設優先入所指針」が設定され、これまで原則申込み順であった施設への入所順序が大きく改められ、今年 4 月からは入所の必要性(緊急性)の高い順に入所が決まる方法に変わることになりました。

施設への入所の必要性(緊急性)は、指針の中の評価基準により、本人の要介護度と家族の状況によって点数化され、それに「特別な状況」としての加算や、経過措置として入所待機日数についての加算があり、その合計点数により判断がされます。その他にも、虐待等により要介護者の生命・身体に危険が生じている場合は最優先されます。

施設では、既に多くの方より入所申込みをお受けしておりますが、入所順序が変わることについてのご理解がいただけるよう、十分な説明をするとともに、入所希望者が安心できるようこれまで以上の公平性・透明性に配慮することが必要になってまいりました。

自分で歩行は可能であるが痴呆症による徘徊などがあるため、片時も目を離すことができず、精神的にも負担があり介護が難しくなっているケース。50 歳代の息子と二人暮らしで働かないと生計が維持できないため介護が難しくなっているケース。その他様々な個別的な事情があり介護困難となっているケースがあります。今後、この評価基準により点数化され、優先入所委員会にて順番が決まることとなりますが、機械的に適用してしまうと様々な個別的な事情について漏れが生じる可能性があります。施設は、今後さらに公平性・透明性を配慮するとともに、介護専門機関として専門的な判断が出来るように個別的な相談をしっかりと行う必要性などが求められています。

平成14年度は、介護保険事業も3年目となり、当法人も指導指針会計方式の会計に慣れ、各施設の事業運営も順調に経過しました。平成15年度からは、介護保険報酬単価の改訂により、より一層の経営努力が求められます。

1. 役員会 理事会5回・評議員会 5回開催
2. 監事監査 決算監査及び業務監査 2回実施
3. 運営会議 施設運営の推移と連携 6回開催
4. 法人研修会 法人大会及び職種毎に 9回開催

5. 施設運営 浜松、御殿場、伊豆高原、松崎の指定介護老人福祉施設並びに身体障害者療護施設及びアドナイ館、御殿場アドナイ館のケアハウス事業が順調に運営できました。

社会福祉法人会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	839,698	流動負債	102,524
現金預金	444,474	未払金	42,808
未収金	342,146	預り金	6,428
立替金	90	前受金	300
前払費用	0	他会計区分借入金	52,988
他会計区分貸付金	52,988	固定負債	1,417,051
固定資産	4,240,801	設備資金借入金	1,152,883
基本財産	4,083,028	長期運営資金借入金	111,150
土地	486,300	長期預り金	132,642
建物	3,596,728	退職給与引当金	20,376
その他の固定資産	157,773	負債の部合計	1,519,575
建物	2,748	純資産の部	
構築物	3,622	基本金	870,123
構築物	15,173	国庫補助金等特別積立金	2,382,581
器具及び備品	113,604	次期繰越活動差額	308,220
権利	2,250	(うち当期活動収支差額)	211,599
その他	20,376	純資産合計	3,560,924
計	5,080,499	計	5,080,499

脚注、減価償却費の累計額 円

事業活動収支計算書 (単位：千円)

科目	決算額
介護保険収入	2,214,130
国庫補助金等特別積立金取崩額	147,926
事業活動収入計	2,362,056
人件費支出	1,409,382
経費	569,698
(直接介護費)	336,328
(一般管理支出)	233,370
減価償却費	217,627
引当金繰入	3,690
事業活動支出計	2,200,397
借入金利息補助金収入	6,660
受取利息配当金収入	27
寄附金収入	19,929
雑収入	16,042
事業活動外収入計	42,658
借入金利息支出	17,920
雑損	7,062
事業活動外支出計	24,982
施設整備等補助金収入	827,086
固定資産受贈額	120
固定資産売却益	1
他会計区分繰入金収入	76,733
会計区分外繰入金収入	79,690
特別収入計	983,630
基本金組入額	53,450
国庫補助金等特別積立金積立額	821,119
固定資産除売却損	64
他会計区分繰入金支出	76,733
会計区分外繰入金支出	0
その他の特別損出	0
特別支出計	951,366
当期活動収支差額	211,599
前期繰越活動収支差額	96,621
次期繰越活動収支差額	308,220

財産目録 (単位：円)

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
普通預金	静岡銀行 細江支店 静岡銀行 御殿場支店 伊豆信用 八幡野支店 スルガ銀行 御殿場支店 静岡銀行 松崎支店 静岡銀行 松崎支店 郵政省 細江支店 静岡銀行 細江支店	223,749,968 19,692,810 4,570,113 395,630 3,712,936 954,436 205,000,000 346,902,222
定期預金	(介護報酬他)	531,802
未収金	(棚卸残高)	181,847
貯蔵品	(調剤代他)	52,988,129
立替金		858,679,893
他会計区分貸付金		
流動資産合計		
2. 固定資産		
(1)基本財産		
建物	(8棟 21,753.55㎡)	3,596,728,136
土地	(20筆 25,182.77㎡)	486,300,426
基本財産合計		
(2)その他の固定資産		
建物	(倉庫・物置等)	2,748,234
構築物	(門扉・陸橋等)	3,621,909
構築物		15,172,608
構築物		115,975,689
器具及び備品		2,250,000
権利	松崎町温泉利用権	20,375,954
その他の固定資産	(退職共済積立金)	3,192,418
その他の固定資産	(診療所)	163,336,812
その他の固定資産合計		
固定資産合計		
資産合計		
II 負債の部		
1. 流動負債		
短期運営資金借入金		0
未払金	(業者支払い他)	43,548,028
預り金	(所得税他)	6,428,246
前受金	(市川園福祉基金)	300,000
他会計区分借入金		52,988,129
流動負債合計		
2. 固定負債		
設備資金借入金	社会福祉・医療事業団 6口	1,089,140,000
設備資金借入金	静岡県社会福祉協議会 7口	63,743,024
長期運営資金借入金	社会福祉・医療事業団 1口	111,150,000
退職給与引当金	静岡県退職共済	20,375,954
長期預り金	ケアハウス入居一括徴収金	132,642,000
減価償却引当金		861,142
固定負債合計		
負債合計		
差引純資産		
3,583,868,744		

公益事業会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	18,982	流動負債	740
現金預金	13,602	未払金	740
未収金	4,756	固定負債	861
葉品	532	引当金	861
立替金	92	純資産の部	
固定資産	5,564	基本金	5,169
器具及び備品	2,372	次期繰越活動差額	17,776
その他の固定資産	3,192	(うち当期活動収支差額)	660
計	24,546	純資産合計	22,945
		計	24,546

公益事業活動収支計算書 (単位：千円)

科目	決算額
診療収入	34,095
診療外収入	2,141
雑収入	4,412
収入合計	40,648
事務費支出	9,471
診療支支出	6,217
繰入金支支出	24,300
支出合計	39,988
当期活動収支差額	660
前期活動収支差額	17,116
次期活動収支差額	17,776

各施設からの事業報告

浜松十字の園

施設長 平井 章

ユニットケアを充実に向けて、生活環境の改善と職員の意識向上を図った年である。[生活環境の改善] ①旧うめ棟が、管理タイプの個室からプライベート個室になり、装いも和風の趣に変身。②排泄ケア研修の考え方による車椅子用トイレへの改修。③訓練室を移動し新ユニットの食堂・居間にした。これによりショートユニットの独立と在宅部門との連携体制が取れた。④機械浴室に普通浴室（個浴）部分を設置した。各階での入浴計画ができ「湯ったり湯ったり入浴」が実現できた。[職員意識の向上] ①昨年に続きユニットケアを考える会を開催。②外部研修、他施設実習の派遣及び研修報告会の実施。より良い施設作りは着実に進んでいる。

御殿場十字の園

施設長 上野 貢一

ご利用者の「心豊かな暮らし」を願い、6月から介護老人福祉施設では、夕食6時を開始しました。10月には、逆デイ「きまま de なごみ」がオープンしました。民家をお借りして、昼間数人が過ごしています。又、ユニットごとでの行事や外出が多くなりました。在宅部門では、精神障害者ヘルパー派遣事業を開始しました。身体障害者デイ、ヘルパー、ショート事業では、支援費制度に移行するために、家族懇談会を開きました。ケアハウス部門では、グランドゴルフ同好会ができました。施設玄関脇には、喫茶「ぶどうの木」がオープンしました。ボランティア懇談会を開きました。第三者委員2名をお願いして苦情体制の整備を行いました。

伊豆高原十字の園

施設長 青木 克文

「寄り添う介護を目指して」ユニットケアへの一歩を踏み出した一年でした。ユニットケアに向け、職員の意識改革のための研修出張や利用者本位の「生活の場」のために制服を廃止、さらに夜勤体制の変更と職員体制の強化などの環境整備を行いました。10月より開始されたユニットケアでは、施設に家庭的な雰囲気ができ、ユニット毎の改善工夫がなされ、利用者も思い思いに落ち着いて過ごされています。

在宅部門では、利用者や家族、また関係機関との信頼は徐々に深まっており、利用者のニーズにあった総合的な事業展開を目指しています。

地域における介護拠点施設として入居者・利用者の自立した生活支援に向けて、施設・在宅共に職員が一丸となり前進しています。

アドナイ館

施設長 宮岸 孝一

開設10年の節目を迎え、法人の基本理念であるキリスト教の精神に従い、毎朝の礼拝を通し聖書のみ言に生まれ入居者一人一人を軽んじることなく援助・配慮に心掛けました。

本年もケアハウスにおける自立生活支援及び生活環境や設備関連の改善と見直しに努めました。

1) 施設内の全網戸を張替え交換しました。2) 食堂内椅子の座張替修理をしました。3) 朝食バイキング用にコーヒーマシンを購入設置しました。4) 娯楽用設備（映写会）に液晶ビジョンを講入設置しました。5) 男女浴室内に使い易いナースコールを設置しました。6) 施設北側駐車場及び十字の大橋付近の段差解消のためアスファルト改修工事等を実施することが出来ました。

松崎十字の園

施設長 三條 洋二

松崎十字の園は、昨年4月に県内では初めての特養施設50床に身体障害者療護施設20床の併設で松崎町市街地中心部に開設されました。特養は、ユニットケアが出来る建て方をしているが施設の処遇を行いたくないという事で施設介護経験者が少ない中で処遇を行い利用者、職員には多大な苦勞をかけてしまいました。職員の努力により毎日の着替えや夜間入浴が行われ、従来の施設の流れ作業的処遇は、行わないようにしています。身障施設オリブも障害者に対する経験職員が少ない中、又、利用者の障害の内容や程度の違いに職員は戸惑いを持ち、利用者にも不安を与えてしまいました。職員の他施設の実習や見学、勉強会を行うことで質の向上を図り落ちついた雰囲気になっております。

各施設のトピックス(特派員報告)



結婚式市場へ進出？

松崎十字の園 山本 隆 弘

昨年4月、特別養護老人ホーム50床に身体障害者療護施設20床の併設という新しいスタイルでオープンした松崎十字の園が、次は結婚式場の分野へ進出か？と思わされる出来事が起こりました。

事の発端は「ここに入居されている方々が結婚式へ招かれる機会はおそらくないだろう。それだったら、自分たちがそのような機会を作ろうじゃないか」と、結婚を控えた当施設の特養ショート主任相談員の山本さんと特養介護副主任の小長谷さんは施設長へその思いを伝え、快く承諾を得て、4月26日、松崎十字の園のデイサービスフロアで結婚式が盛大に執り行われました。



結婚式開催の噂が特養利用者の間に広まると、着ていく服の心配をされる方、当事者の二人を祝福の思いを込めてからかう方など、いつもの生活では見ることのできない一面を見せておられました。

前日の夕方、デイサービスが終了すると、当事者を初め、職員、牧師、当事者の家族まで巻き込んだの会場設営が行われ、その甲斐もあって手作り感あふれた結婚式となりました。

結婚を控えているみなさま、実績豊富(?)な「結婚式場 松崎十字の園」はいかがでしょう。

「身も心も緩む、ゆとりの中へ」

伊豆高原十字の園 重永 仁 美

全体的集団処遇から単位的小集団処遇へ……。ユニット～～ユニット～～。私が抱いたユニットのイメージ、それはまさに、我が娘も騒ぎ一世風靡した「モー娘のユニット」、そんな感覚。あくまでも「集団」から「個人」へ向かう途中の小分けグループ化的ケア。

とはいっても20数年前の建物、利用者の理解、そして職員のイメージトレーニング、その他諸々。「是が非でもユニット的処遇に切り替えたい！」そういった青木施設長の熱い思いを強烈に感じながら平成14年10月1日、ユニットケアへと転換した。

案外スーッと自然に生活が始まった。手作りのパーテーションや隣り近所で頂いたソファ、トイレや廊下のカーテン、部屋の引き戸の障子化、そしてグリーンの数々。職員の努力はもちろんのこと、器用さに大きな感動を覚えた。

リビングでお茶をしながらテレビを観、饅頭を食べている姿、利用者と若い職員が湯気の立っているコーヒーを飲んでいる姿、そんなくつろぎを垣間見たとき「今までできなかったの、♪なんでだろ～♪なんでだろ～♪」と反省しつつ、「これだよ！これ！青木施設長の言うところのものは！」と。

ソファに腰掛けて口を半開きに、膝には色雑多な柄のストールで居眠り。「こんな風景どこかで見た事あったなあ、、、」と考えながら我が家の「旦那と姑」を想像した。小さな家庭作りが少しずつ始まり、慌ただしかった一日が静かなゆとりの時を過ごすようになってきた。

「施設はあくまでも施設＝家庭には成り得ない」との私の持論は少し風向きが変わった。

家庭に成り得なくとも、一寸づつ…一寸づつ「家庭」に近づくために、「日夜考えることをし、試行錯誤で努力をしつづける職」が私達の成すべき仕事なんだろうなあ…と。

常に子供達に驚かされている毎日であるならば、明日はまたユニットの風が変わる。



陶芸教室やっています

御殿場十字の園デイサービス 神戸由希子

御殿場デイサービスで陶芸をはじめて早4年、もとはといえば高根デイサービスで暇そうにしている利用者のNさんに声をかけ、当時少しかじっただけの私がいそがしに教えたのがきっかけでした。そのうちに陶芸の先生にも出会い、3分間クッキングならぬ、3分間陶芸なる荒技も確立し、どなたでも参加していただける陶芸教室ができました。

Nさんは、デイに着くやいなや作品作り。今では師匠？を追い抜きNワールドを完成。他にも片マヒのJさんは、デイで使う湯飲みを片手でろくろを器用に回し、すばやく作ってくれます。私はといえば、教えることと仕上げの作業に追われ、自身の作品はたまーに。まァ、老後の楽しみに取っておきましょう。夜は職員も作りに来ますが、最近ハッピー気分。というわけで、「御用とお急ぎでないあなた、湯飲みでも作っていきませんか」と声をかけるこの頃です。

陶芸の楽しみは窯の蓋を開けるときの。今度こそいい色が出ますようにと祈りながら、今日も窯へ向かうNさんと私です。



『大型スクリーンで、アドナシアター』

アドナイ館 三輪真理子

小川忠孝老人福祉基金の助成をいただき、ケアハウスの食堂に自動昇降システムの大型スクリーンを設置しました。入居者の中から映画係を2名出していただき、記念すべき第1回上映作品は、14年度日本アカデミー賞作品賞他、各賞を総ナメにした「たそがれ清兵衛」！

液晶ビジョンで映し出される主演女優の宮沢りえさんの美しさに一同うっとり。下級武士の悲哀に一同ほろり。山形の庄内弁のセリフに同郷の入居者さんは「なつかしいわー」とにっこり。



それにしても57才、映画初出演で助演男優賞に輝く田中泯さんの殺陣や立ち回りは驚嘆に値しました。実は彼は前衛舞踏家で、表現の人です。私も、もう30年近く前、生の舞台を観ましたが、やはり素晴らしかったです。夢を捨てずに自分を磨き続ける人は歳月を重ねても色褪せる事なく、私達を楽しませ、元気づけてくれます。

次は何を上映しましょうか？楽しみがまた1つ増えましたね。

体も心も温まります。

浜松十字の園 今井優子

「いい湯だな〜♪」と歌いたくなるようなピカピカのお風呂が、この4月中旬に完成しました。場所は2階浴室。今まで特殊浴槽がデーンと場所を占めていた大きな浴室の半分を譲り受け、ごく普通の一般浴槽が2基、明るい外の景色を眺めているかのように幸せそうに並んでいます。

「今までより浴室も狭くなって、浴槽も小さくて、なんか普通の家と変わらないんじゃないの？」そうなんです！十字の園は、皆さんの生活する家なんです！今まで機械のお風呂ばかりに入っておられた方も、この新しい浴槽に浸かって、職員とのお話もはずみます。「〇〇さん、こんなお風呂入られたのは何年ぶりですかねえ。」「わしゃ、お殿様になったみたいだよ。」「〇〇さん、女の人だから、お姫様じゃあないですか？」文明の力である機械のお風呂の利点もありますが、あったかいお風呂には、やっぱりあったかい職員の心と技術が必要なんですね。ホント。

松崎の天然温泉とまではいきませんが、「のんびり」「ゆったり」の家風呂ができあがりました。きっと、みなさん入ってみたくになりますよ。



2003(平成15)年度 新規採用者

4月1日の辞令交付式で十字の園に
新しい仲間が加わりました。

☆浜松十字の園

(介護士) 土井啓至・渡邊祐子・小澤敏子
犬塚慶子・山崎美香・鈴木真琴
原野ユミ子・袴田三恵子

(事務員) 後藤真紀

(介助員) 立井里奈・中川典子



☆御殿場十字の園

(介護士) 山本純子・滝口史美・勝又和也
田嶋芽衣子・田代雅子

(事務員) 高橋雅昭・山本 靖

☆松崎十字の園

(介護士) 佐藤信子・馬場 弘・小磯尚文
秋元 徹・稲木清宏・須田一馬
堀内佐江子

☆伊豆高原十字の園

(事務員) 山田昌子

計 26 名

献金ありがとうございます!

皆様の温かいお支えにより、昨年度も多くの寄付金を賜り誠にありがとうございました。
より良い施設運営を目指し、これらの寄付金を施設整備及び備品購入にあてさせていただきます。
今後とも、十字の園へのご理解・ご協力を宜しく願います。

法 人 本 部	68 件	1,036,760 円
浜 松 十 字 の 園	104 件	2,626,906 円
御 殿 場 十 字 の 園	284 件	3,736,790 円
伊 豆 高 原 十 字 の 園	141 件	5,100,402 円
松 崎 十 字 の 園	17 件	134,000 円
ア ド ナ イ 館	195 件	6,216,794 円
御 殿 場 ア ド ナ イ 館	4 件	1,076,918 円

皆様の 暖かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県引佐郡細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平 井 章

銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

合 計 813 件 19,928,570 円

<あとかき>

このところ世の中の動きは、物騒なニュースが多く、住みにくい社会になってきている事を感じます。
ぶどうの木第15号をみると、どの頁も夢を語り、明日に向かっていきます。ともすれば経済優先、効率優先とされる中で、精神的基盤に立って愛の実践を、生業とすることができる私達は、誠に祝福された人生だと思わされます。

日々、“あなたに会いに行く”とのキリストの呼びかけに応える“私”でありたい。